



# 窓報 千南原

第13号

昭和63年7月1日発行  
編集・発行  
藤枝市天王町1丁目7-1  
静岡県立藤枝東高等学校  
同窓会事務局

## 六十三年度本部役員

### 昨年引き続き留任

御挨拶 会長 伊村隆恵



若葉薫る快い季節を迎えました。春四月の入学式が終わり、この時期になりますと、「千南原」会報の編集、発行となります。

同窓の諸兄におかれましても、愈々ご健勝にてご活躍の事と存じ、衷心よりお喜び申し上げます。

私事なれど、昨年会長も任期満了というので、一区切りを契機に辞任を申し上げましたが、副会長さんを始め森校長さんの強い要請を受け、何等お役に立ため事を熟知の上にて再任をいたし、早や一ヶ月を経過しました。

会も昨年の暮れは会員名簿の改正出版という大仕事を完了、諸兄のご協力のおかげで他校に見ぬ立派なものが出来上がり、お手元に

送付できました事を喜ぶと共に感謝申し上げます。

さて母校も近年はめざましい発展を続けており、生徒数に於いても志太中時代の定員百名は昔の事、本年は学級増で四二五名の新入生を迎え、質、量ともに優れた生徒ばかりとなりました。これも「至誠一貫」の建学精神を代々受け継ぎ、六十有余年の歴史が、今日の伝統を築きあげた結果と考えます。スポーツに大学進学に、文武両道の道に於いての成績結果も、ひとえに歴代校長を中心にして全職員の結束協力のご指導の賜と思いに感謝しております。本年も三月末人事異動により、名校長の譽れ高き森校長が浜松北高へ栄転

と富士高時代七年、藤枝東時代六年、勤務を同じくし、三十歳代からの長友であります。人格、識見共に優れ、安心して転出することが出来ました。必ずや、藤枝東高の声価を更に一段と高めることに違いないと確信して居ります。四月からは、浜松北高に勤務して居りますが、八十年史に大正十四年蹴球部創立、創立後一年、二月十一日静高主催の近県大会に志太中と対戦し、二対一で敗れる。昭和四年七月二十三日志太中と対戦前半二対一後半〇対二の三対二で勝つ。などの記載があり、懐しく思つて居ります。

## 東高を去るに当って

前校長 森 茂巳



昭和六十一年四月に、鎌田校長先生の後任として五年振りに着任して以来早や二年が過ぎ、六十二年度末の人事異動で浜松北高に転出することになりました。

教頭として七年、校長として二年、同窓会の方々にはひとかたならぬ御支援とご鞭撻をいただき誠に有難く厚く感謝を申し上げます。

古来、藤枝の地は志太郡衝が置かれ、地域の文化の中心として、その活動は志太平野の人々の心に触れて脈々と受け継がれて来ましたが、藤枝東高はこのような風土の中に生まれ、至誠一貫を校訓として六十有余年の伝統を築いて今日

され、誠に母校にとっては惜しまれる離別でありました。

幸いにして新任の今泉校長は教諭時代に約十年在任され、本校勤務は二度目でもよく承知され、特にスポーツの深い理解者であることは大変母校にとり嬉しいことと思っております。

また三月は、十一年の長きに渡りサッカー部監督として指導をいただき、この間全国大会に出場し、全国三位の実力を発揮された鎌田先生が吉田高校へご栄転となり、名監督を失ったことは淋しいことでした。後任に若手の長谷川二三監督を迎え、鎌田監督とは一味違った指導に私共は大きな歓心と期待をもちつて居ります。

## 昭和六十三年度 同窓会本部役員

- 会長 伊村隆恵 (6回)
- 副会長 宮崎啓之進 (9回)
- 曾根雄一 (12回)
- 鈴木一夫 (15回)
- 岩田規 (15回)
- 橋本守 (17回)
- 大石鉄郎 (26回)
- 井田久義 (28回)
- 松永 臻 (3回)
- 岩崎正雄 (12回)
- 石田哲夫 (27回)

## 新図書館完成

### 旧講堂、新図書館に建て替

旧図書館(旧講堂)が昭和三年の八月に竣工以来59年間を経て、老朽化と学級増に伴う教室の増設の必要により昨年の11月に取り壊されました。そして、本年の三月第三棟校舎として新築され、一階が図書室、二階が教室(一年二クラス)として利用されています。

前図書館の天井がずいぶん高く、座席は二〇席、新聞雑誌の閲覧コーナーが一〇席あります。また書棚は備え付けの木製書架を新たに設置し、機能的でしかも落ち着いた雰囲気を作り出しています。



## 着任のごあいさつ

校長 今泉龍雄

同窓会々員の皆様には、益々ご健勝に全国各地、各界においてご活躍・ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃、皆様方には母校発展のため何かとご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

本年四月、前任森校長のあとを受けて本校に着任いたしました。まことに浅学非才の身には大任でございますが、懸命に勤めますので前任者同様ご厚情とご指導を賜わりますよう、お願い申し上げます。私にとりまして本校は二度目の勤務となります。昭和四十二年からの十四年間に物理の一教師として本校にお世話になり、その期間に学校のすぐ近くに土地を求め、家も建てて藤枝の住人となりました。その後家族を残しての単身赴任等も経験して戻ってまいりました。八年振りに帰っての本校の印象は、また一段と質的にも向上し、大学進学の実績も県下有数の進学校として成長いたしました。これもひとえに皆様方の暖かいご支援のおかげと感謝の他ありません。過日も、同窓会役員総会の会合で、志太中時代の先輩の皆様方



われていきます。図書館の周囲の木々はそのまま残してありますが、新しい建物にしっかりと馴染むには時間がかかりそうです。しかし、

図書館は胎動し、毎日多くの生徒に利用されています。母校にお越しの際は、図書館にもお立ち寄り下さい。

(昭63・6・1)